

# 第69期 報 告 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

ANNUAL REPORT

- 1P 株主の皆様へ
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報  
株式の状況
- 6P 進化し続けるOUGグループ 株式会社 兵 殖  
津久見加工場が対EU輸出水産食品取扱  
施設に認定されました
- 7P OUGグループの小売事業会社「黒門三平」の  
カタログ販売が更に充実！  
夏の贈り物 Summer Gift
- 8P Information  
株主優待制度





代表取締役社長

## 谷川 正俊

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第69期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成27年6月

## 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気の回復にはもたつきがみられますが、企業業績の回復、雇用・所得環境の改善、輸出額の増加など前向きな環境が続き、個人消費の回復は鈍いものの、緩やかな回復基調にありました。消費者心理は上向きつつありますが、消費税増税や物価上昇による実質所得の目減りから日用品を中心に節約志向が依然として続き、消費者の購買行動は多様化してきております。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は円安および国際競争の激化などにより調達コストが上昇し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は3,244億63百万円（前年同期比103.8%）となりました。損益面では、売上総利益は219億90百万円（前年同期比96.9%）となり、営業利益11億66百万円（前年同期比61.2%）、経常利益12億84百万円（前年同期比65.7%）、当期純利益9億99百万円（前年同期比60.1%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業の売上高は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により2,054億17百万円（前年同期比105.8%）となりましたが、仕入コストの上昇などによる売上総利益率の低下によりセグメント利益10億17百万円（前年同期比85.0%）となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業の売上高は、販売単価は上昇したものの販売数量の減少により1,161億23百万円(前年同期比99.8%)となり、間接経費全般の節減に努めましたが、仕入コストの上昇および市況の変動などによる売上総利益率の低下によりセグメント損失4億29百万円(前年同期はセグメント利益3億77百万円)となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業の売上高は、販売数量は減少したものの販売単価の上昇などにより83億7百万円(前年同期比121.9%)となり、燃料、餌料価格の上昇から生産コストは上昇しましたが、売上高の増加によりセグメント利益6億36百万円(前年同期比296.3%)となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は、鮭鱒等の原料事情の悪化を主因とする販売数量の減少などにより45億78百万円(前年同期比94.8%)となり、原材料価格の上昇などに伴う利益率の低下によりセグメント損失1億40百万円(前年同期はセグメント損失1億6百万円)となりました。

#### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業の売上高は、取扱数量の減少、付帯事業の減少などにより18

億26百万円(前年同期比86.5%)となり、売上高の減少によりセグメント損失95百万円(前年同期はセグメント損失28百万円)となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他の売上高は、当期より連結子会社が1社増加したことなどにより49億2百万円(前年同期比109.3%)、セグメント利益43百万円(前年同期比67.2%)となりました。

### 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復基調が続くと予想されますが、海外経済や外国為替相場の動向、原油価格の上昇など先行き不透明な状況にあります。

また、水産物流通業界におきましては、円安および国際競争の激化などにより海外水産物の調達コストが上昇したまま、消費者の日常消費に対する節約志向は継続し、加えて購買行動は多様化するなど厳しい経営環境下にあると予想されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。また、グループ経営基盤の強化を図り業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務の概況

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		[平成27年3月31日現在]	[平成26年3月31日現在]
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>		<b>50,826</b>	<b>47,822</b>
現金及び預金		2,054	1,971
受取手形及び売掛金		27,993	26,461
商品及び製品		19,652	18,352
仕掛品		0	1
原材料及び貯蔵品		404	202
繰延税金資産		331	413
その他		687	677
貸倒引当金		△ 298	△ 259
<b>固定資産</b>		<b>22,660</b>	<b>21,197</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>11,426</b>	<b>11,291</b>
建物及び構築物		2,816	2,854
機械装置及び運搬具		990	929
工具、器具及び備品		347	307
土地		6,778	6,889
リース資産		474	290
建設仮勘定		19	19
<b>無形固定資産</b>		<b>3,950</b>	<b>3,409</b>
ソフトウェア仮勘定		3,625	3,285
その他		324	124
<b>投資その他の資産</b>		<b>7,283</b>	<b>6,496</b>
投資有価証券		6,241	5,467
関係会社株式		76	76
長期貸付金		61	54
破産更生債権等		486	891
繰延税金資産		268	155
その他		674	769
貸倒引当金		△ 525	△ 918
<b>資産合計</b>		<b>73,486</b>	<b>69,019</b>

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		[平成27年3月31日現在]	[平成26年3月31日現在]
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>		<b>44,281</b>	<b>40,867</b>
支払手形及び買掛金		18,860	18,349
電子記録債務		18	—
短期借入金		18,710	16,315
1年内返済予定の長期借入金		1,662	1,842
リース債務		498	750
未払法人税等		561	157
未払消費税等		341	143
賞与引当金		647	649
その他		2,981	2,660
<b>固定負債</b>		<b>10,840</b>	<b>11,550</b>
長期借入金		6,156	6,417
リース債務		1,383	1,017
繰延税金負債		695	703
再評価に係る繰延税金負債		298	373
退職給付に係る負債		1,717	2,436
役員退職慰労引当金		89	102
資産除去債務		157	160
長期未払金		3	19
その他		338	318
<b>負債合計</b>		<b>55,121</b>	<b>52,417</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>		<b>16,923</b>	<b>16,168</b>
資本金		6,495	6,495
資本剰余金		6,090	6,090
利益剰余金		4,489	3,765
自己株式		△ 151	△ 183
<b>その他の包括利益累計額</b>		<b>1,441</b>	<b>431</b>
その他有価証券評価差額金		1,418	792
繰延ヘッジ損益		10	3
土地再評価差額金		△ 372	△ 337
退職給付に係る調整累計額		383	△ 26
<b>少数株主持分</b>		<b>—</b>	<b>2</b>
<b>純資産合計</b>		<b>18,364</b>	<b>16,601</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>73,486</b>	<b>69,019</b>

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務の概況

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	(単位:百万円)	
		当期 〔自平成26年4月1日 至平成27年3月31日〕	前期 〔自平成25年4月1日 至平成26年3月31日〕
売上高		324,463	312,474
売上原価		302,473	289,776
売上総利益		21,990	22,698
販売費及び一般管理費		20,823	20,791
営業利益		1,166	1,906
営業外収益		446	408
受取利息		3	4
受取配当金		124	120
補助金収入		63	55
受取賃貸料		58	57
その他		196	170
営業外費用		328	359
支払利息		292	308
その他		36	50
経常利益		1,284	1,955
特別利益		26	59
投資有価証券売却益		26	40
固定資産売却益		—	18
特別損失		137	153
減損損失		106	126
事務所移転費用		22	—
固定資産売却損		9	17
固定資産除却損		—	9
税金等調整前当期純利益		1,173	1,861
法人税、住民税及び事業税		588	220
法人税等調整額		△415	△23
法人税等合計		173	197
少数株主損益調整前当期純利益		999	1,664
少数株主利益		—	2
当期純利益		999	1,662

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

当期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成26年4月1日残高	6,495	6,090	3,765	△183	16,168
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△333		△333
当期純利益			999		999
連結範囲の変動			△12		△12
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分				36	36
土地再評価差額金の取崩			69		69
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	723	31	755
平成27年3月31日残高	6,495	6,090	4,489	△151	16,923

	その他の包括利益累計額					少数株主 持分	純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
平成26年4月1日残高	792	3	△337	△26	431	2	16,601
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△333
当期純利益							999
連結範囲の変動							△12
自己株式の取得							△5
自己株式の処分							36
土地再評価差額金の取崩							69
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	626	7	△34	410	1,009	△2	1,007
連結会計年度中の変動額合計	626	7	△34	410	1,009	△2	1,762
平成27年3月31日残高	1,418	10	△372	383	1,441	—	18,364

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	(単位:百万円)	
		当期 〔自平成26年4月1日 至平成27年3月31日〕	前期 〔自平成25年4月1日 至平成26年3月31日〕
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△71	327
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△706	△393
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		858	253
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		80	187
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		1,966	1,779
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		2	—
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高		2,049	1,966

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社情報 (平成27年3月31日現在)

## OUGホールディングス株式会社

### 会社概要

**主要な事業内容** 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

**設立** 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)

**資本金** 6,495百万円

**発行済株式総数** 55,622,921株

**従業員数** 連結 1,268名 単独 35名

### 役員の体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	増田安利
	取締役	三輪光幸
	取締役	勝田昇夫
	取締役	角田晴夫
監査役	常勤監査役	玉田耕也
	監査役	谷和道雄
	監査役	富田英孝
	監査役	和田徹
	監査役	伊藤博通
相談役	相談役	溝上源二

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	増田安利
	取締役	三輪光幸
	取締役	勝田昇夫
	取締役	角田晴夫
監査役	常勤監査役	玉田耕也
	監査役	谷和道雄
	監査役	富田英孝
	監査役	和田徹
	監査役	伊藤博通
相談役	相談役	溝上源二

執行役員	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	原田史郎
	執行役員	岡田雅之

# 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

## 株式の状況

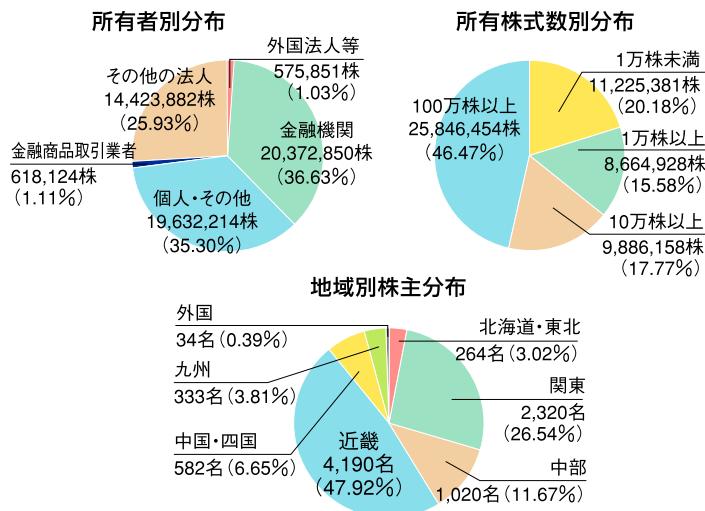
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	8,743名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	7,450	13.41
日本生命保険相互会社	3,312	5.96
農林中央金庫	2,636	4.75
株式会社 みずほ銀行	2,000	3.60
株式会社りそな銀行	1,842	3.32
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,742	3.14
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,519	2.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	1,150	2.07
丸大食品株式会社	1,150	2.07
OUGグループ従業員持株会	1,040	1.87

(注) 持株比率は、自己株式(69,049株)を控除して計算しております。  
なお、従業員持株ESOP信託として保有する当社株式(746,000株)は当該自己株式には含めておりません。

## 株式分布



## ■ 津久見加工場が対EU(欧州連合)輸出水産食品 取扱施設に認定されました

OUGグループ会社であります株式会社兵殖の事業活動の状況についてご紹介いたします。

同社は、九州・四国でブリ・ハマチ・マグロの養殖事業を展開する全国でも最大規模の養殖業者です。

同社は、養殖場から加工場に至るすべての生産ラインで全国初となる国際認証機関(SGS)のHACCP認証を取得し、養殖ブリのフィレー加工から販売までを手掛けております。

本年3月には、同社の津久見加工場(養殖ブリ加工)が、国のEU(欧州連合)向け輸出の水産食品取扱施設に大分県内で初めて認定されました。

今、海外では和食への関心が高く、寿司ネタを始めとする日本の水産食品は人気商材となっております。

このような需要に対応するため、同社は、生鮮養殖ブリフィレーを、米国を始め、シンガポールなど東南アジアに輸



ひろひろいけす

出しております。今後は欧州への輸出も可能になり、更なる販路の拡大を図ってまいります。

また、同社は、欧州での取組みの一環として、本年4月にベルギーで開催されたシーフード・エキスポ・グローバルに生鮮養殖ブリフィレーを出展し、新鮮で美味しい、また、ヘルシーな日本の水産食品としてのアピールを行いました。

同社は、今後とも国内外のお客様に高品質の養殖魚を供給し、OUGグループの養殖事業会社として食文化の発展に貢献してまいります。



### 【会社概要】

株式会社 兵 殖  
代表取締役社長 角田 晴夫  
住所：〒879-2412 大分県津久見市高洲3824-71  
TEL：0972-82-8200  
従業員数：104名  
売上高：83億7百万円(平成27年3月期)  
事業所：宮崎事業所、津久見事業所、長崎事業所、宿毛事業所

OUGグループの小売事業会社「黒門三平」の カタログ販売(うまいもん便)が更に充実!

# 夏の贈り物

## Summer Gift

# 黒門三平



北海道産 紅鮭厚切



黒門三平は、大阪日本橋の黒門市場で店を構え、鮮魚や水産加工品全般を扱っております。  
黒門三平が、季節を通じて行っているカタログ販売「うまいもん便」は、選りすぐった本物の味をご賞味いただけます。  
贈答品やご家庭で、ぜひご利用ください。



五郎籐うなぎ蒲焼



煮あなご小どんぶりと  
海鮮あんかけチャーハン



辛子明太子

詳しくはインターネットをご覧ください。  
ネットショップ <http://kuromon-sanpei.shop-pro.jp/>  
カタログ販売(うまいもん便 Summer Gift)

株式会社 黒門三平  
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-22-25

ご注文お問い合わせの際は、下記窓口までご連絡ください。

お問い合わせ  
電話番号 0120-396-358

携帯・PHS・IP電話の方は 06-6635-1938

★営業時間 午前9時～午後5時(日曜・祭日を除く)



当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

## 株主優待制度

### (1) 対象株主様

毎年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された、1単元(1,000株)以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

### (2) 優待の内容

- 1,000株以上5,000株未満ご所有の株主様へ3,500円相当の水産加工品を贈呈
- 5,000株以上ご所有の株主様へ7,000円相当の水産加工品を贈呈  
数種類の品目よりお選びいただけます。

### (3) 贈呈時期

毎年、12月上旬を予定しております。

## 昨年、ご好評いただいた優待の人気商品!!



輪島の朝 干物詰合せセット  
(3,500円 相当)



冷凍はたて貝柱 (生食用)  
(3,500円 相当)



塩紅鮭姿切  
(7,000円 相当)



炭火蒲焼うなぎセット  
(7,000円 相当)

## 単元未満株式の買取請求について

### (1) 買取請求について

単元株(当社の場合 1単元:1,000株)に満たない株式を、発行会社に対して市場価格にてその株式を買取るよう請求することができます。

### (2) 買取請求の手続きについて

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、ご所有の単元未満株式が特別口座に記録されている場合は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。(株主メモをご参照ください。)

# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
  - ・ 東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
  - ・ 大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.oug.co.jp">http://www.oug.co.jp</a>

## 免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

## Web Information

**IR情報**

投資家の皆様へ

株主優待のご案内

1000円以上・5000円未満  
5000円以上

1000円以上・10000円未満  
10000円以上

株主優待を画像等で紹介しております。

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待の商品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

## TOP PAGE

OGグループは  
水産物をコアとし、お客様に創製ある商品とサービスを提供することにより  
良文化の発展に貢献します。

ニュースリリース

お知らせ

お知らせ

お知らせ

## COMPANY PROFILE

**トップメッセージ**

OGホールディングス株式会社  
代表取締役社長 藤田 正樹

OGホールディングス株式会社は、水産物をコアとし、お客様に創製ある商品とサービスを提供することにより良文化の発展に貢献することを使命としています。

## GROUP について

グループ会社について  
動画等で紹介しております。

グループ会社の紹介

OGグループの理念

OGグループの使命

OGグループのビジョン

<http://www.oug.co.jp>

## OGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号  
うおいちニッセイビル5階  
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145  
URL <http://www.oug.co.jp>